



**12/19(土)、岩手県立大槌高校の生徒と千葉大学園芸学部学生
「コミュニティーガーデン」ワークショップ及びクリスマスリースづくり
～花と緑を通じた被災地支援活動がつなく、大学生と高校生の交流～**

千葉大学園芸学部は、東日本大震災後、「被災地に元気と笑顔を届ける」ことを目的に、2011年から定期的に学生と教員が被災地に赴き、コミュニティーガーデンを通じた支援活動を行っています。12月19日(土)には、千葉大学園芸学部の学生有志7名と専門家2名教員1名が岩手県大槌町を訪れ、大槌高校生とコミュニティーガーデンに関するワークショップ、また採取した蔓や葉っぱを用いたクリスマスリースを作ります。

■ 園芸学部の学生が継続している被災地支援活動

千葉大学の園芸学部の学生の有志により、東日本大震災後の2011年7月に、国立大学で国内唯一の園芸学部生として、大学で学んできた知識や経験を活かし、植物を通じて被災地を元気づけたいという思いから、宮城県石巻市の仮設住宅で、コミュニティーガーデンづくりを開始しました。

以後、宮城県だけでなく、岩手県や千葉県旭市にも取り組みを広げ、これまで約40回にわたり被災地を訪問し、コミュニティーガーデンの維持管理や、商店街の緑化活動、ハーブを使った香袋や石鹸作りなどを、地元の方々と一緒に継続して実施しています。

■ 大槌高校生によるプレゼンやワークショップ、
地元で採れた蔓や葉っぱを用いたクリスマスリースづくり

今年度は、6月に石巻市で被災地支援活動を実施し、8月と12月陸前高田市と大槌町、釜石市で、石巻市でも10月と年明けにもそれぞれ活動を実施する予定です。

今回の大槌町では、大槌高校生と一緒に作ったドリームガーデン(コミュニティーガーデン)の看板作りワークショップ、大槌高校生によるガーデン観察記録の報告会を午前中に開催し、午後には採取した蔓や葉っぱ、ガーデンの素材を使ったリース作りを開催します。



■ 当日の概要

日時：平成27年12月19日(土) 10:00～14:30

場所：大槌コミュニティプレイス(岩手県上閉伊郡大槌町大町)

内容：10:00～10:30 大槌高校生からのプレゼン&コメント

10:30～11:00 ドリームガーデン看板のコンセプトのワークショップ

11:30～12:00 発表

12:00～13:00 昼食

13:00～14:30 クリスマスリースづくり

参加者：岩手県立大槌高校生10名程度、千葉大生、講師

対応者：千葉大学園芸学研究科 秋田典子准教授

本件に関するお問い合わせ・取材のお問い合わせ
千葉大学園芸学研究科緑地環境学コース 秋田 典子准教授

TEL: 047-308-8879

メール：noriko@faculty.chiba-u.jp